

研究の概要

20 25 年 3 月 19 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	前培養時間の延長によりICSI成績は改善されるか
代表研究者 (所属・氏名)：	生殖技術部門・柴田 美智子
研究の目的：	第一極体を放出して間もない卵子は紡錘体が形成していないためICSIの成績は不良になるといわれている。裸化時に未熟卵の割合が高い症例ではこのようなMⅡが増えるのではないかと考え、前培養時間の延長による受精率の向上を検討した。
調査データ該当期間：	20 24 年 3 月 1 日 ～ 20 24 年 6 月 30 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2024年3月～2024年6月に採卵して得られた1754個の卵子を対象とした。そのうち、裸化時成熟率が70%以上の症例【A群】は従来通りICSIを施行し、70%未満の症例【B群】には、前培養時間を3時間延長してICSIを施行した。検討では両群間の総受精率を比較した。また、裸化時にMⅡであった卵子のみの受精率についても比較を行った。さらに、裸化時MⅠであったがICSI時MⅡになっていた卵子の受精率の比較を行った。
個人情報の取り扱い：	患者試料を分析する際には、連結可能匿名化をする。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い、符号のみで取扱うので、個人情報は公開されない。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	06-6978-8824 生殖技術部門・柴田 美智子
備考	